

### Ⅲ 各務原市図書館の沿革

年	内容
昭和38年 (1963年)	・ 県立図書館の移動図書館車『ひばり号』による巡回文庫が始まる
昭和39年 (1964年)	・ 市読書サークル連絡協議会が設立
昭和40年 (1965年)	・ 全市献本運動が行われ、約1,500冊が蘇原支所図書室へ集められる
昭和41年 (1966年)	・ 読書サークル・婦人会を中心に、図書の貸出利用が始まる
昭和42年 (1967年)	・ ライトバンによる巡回図書貸出が始まる
昭和44年 (1969年)	・ 武藤嘉一氏(初代市長)より図書1,450冊の寄託を受け、那加公民館に『武藤嘉一文庫』が開設される
昭和46年 (1971年)	・ 移動図書館車『ともしび号』を購入し、隔月巡回の運行を開始
昭和51年 (1976年)	・ 各務原ライオンズクラブより『ともしび第2号』を寄贈
昭和52年 (1977年)	・ 中央公民館に図書室設置
昭和53年 (1978年)	・ 保健文化会館内に市図書館を開設
昭和54年 (1979年)	・ 市図書館で身体障がい者に図書の郵送貸出開始
昭和56年 (1981年)	・ 市図書館で点字図書の郵送貸出を開始
昭和59年 (1984年)	・ 岐阜カンツリー倶楽部より移動図書館車『さつき号』を寄贈
昭和63年 (1988年)	・ 市図書館で録音テープ図書の郵送貸出を開始
平成元年 (1989年)	・ 新図書館(中央図書館)の建設が決まり、市図書館等建設専門委員会による建設に関する意見書がまとまる
平成3年 (1991年)	・ 市民公園に『中央図書館』、日本ラインうめまの森に『もりの本やさん』を開館 ・ 中央図書館、分館、もりの本やさんのオンライン化を図る
平成4年 (1992年)	・ 利用登録者2万人を達成 ・ 中央図書館開館以降、貸出利用者数延10万人突破 ・ 中央図書館開館1周年記念事業として『かかみ野手づくり絵本コンテスト』を開催
平成6年 (1994年)	・ 新移動図書館車『さつき号』を購入し運行を開始
平成7年 (1995年)	・ 貸出利用者数延50万人を突破
平成10年 (1998年)	・ 夏休み期間中の開館時間10時から9時に変更
平成11年 (1999年)	・ 貸出利用者数延100万人を突破

年	内容
平成13年 (2001年)	・ 祝日開館を実施 ・ 敦賀市立図書館と『リレーメルヘン事業』を開始
平成14年 (2002年)	・ 『利用カード』を新デザインに変更
平成15年 (2003年)	・ 日曜日・祝日の閉館時間を17時から19時に延長 ・ 利用カードの制限(市内在住・在勤・在学)を撤廃
平成16年 (2004年)	・ 『もりの本やさん』で貸出を開始 ・ 貸出冊数を5冊から10冊に変更(移動図書館車を除く) ・ 川島町との合併で『川島ほんの家』が分館となる ・ インターネットによる蔵書検索を開始する
平成17年 (2005年)	・ レファレンス窓口を一階受付カウンターに増設 ・ 『もりの本やさん』に一般書図書室を設置
平成18年 (2006年)	・ インターネット予約を開始 ・ 貸出冊数延700万冊突破 ・ 貸出利用者数延200万人を突破 ・ 中部学院大学附属図書館と相互協力の覚書締結
平成20年 (2008年)	・ 総合教育メディアセンターを廃止、中央図書館に統合
平成21年 (2009年)	・ 子どもの読書活動推進計画を策定
平成22年 (2010年)	・ 貸出冊数延1,000万冊を突破 ・ 夢ある都市第2弾『本の街』づくり宣言
平成23年 (2011年)	・ 『本の街かかみがはら』スタート ・ 『中央図書館』『もりの本やさん』リニューアル ・ 移動図書館車『さつき号』更新 ・ 『新緑』『秋』ブックフェスティバル開催 ・ 『旅する本』事業開始
平成24年 (2012年)	・ 『新緑ブックフェスティバル』8,000人、『秋のブックフェスティバル』9,000人を集客
平成25年 (2013年)	・ 『新緑』『秋』ブックフェスティバル開催 ・ 『マナーアップキャンペーン』を実施 ・ 市制50周年記念として、オリジナルブックカバーを作成(各務原ブランド推進事業)
平成26年 (2014年)	・ 『新緑ブックフェスティバル』を開催 ・ 図書館システムを更新、クラウド型の図書館情報システムを導入 ・ セルフ貸出機2台を設置 ・ 貸出冊数を10冊から30冊に変更 ・ インターネットによる貸出延長を開始 ・ 秋のブックフェスティバルを改め、セレクトマーケットと共に『マーケット日和』としてリニューアル開催
平成27年 (2015年)	・ みんなのおはなし会を開催 ・ 青空古本市等をマーケット日和で開催し、図書館と学びの森の2会場で20,000人を集客 ・ 第1回ビブリオバトルを開催 ・ 鶴沼駅空中歩道に図書返却ポストを設置

年	内容
平成28年 (2016年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央ライフデザインセンター図書室がリニューアルオープン(3階に移動、読み聞かせ用スペース新設)</li> <li>青空古本市に加え、『一箱古本市』をマーケット日とで開催し、23,000人を集客</li> <li>子どもの読書活動推進計画(第2次)を策定</li> </ul>
平成29年 (2017年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育センター(愛称:すてっぷ)を中央図書館4階に開設</li> <li>埋蔵文化財調査センターが水道事業庁舎(三井東町)から中央図書館3階に移転</li> <li>青空古本市を『ブックマーケット』と名称を改め、マーケット日とで開催</li> </ul>
平成30年 (2018年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各務原市歴史民俗資料館が中山道鵜沼宿町屋館から中央図書館3階に移転</li> <li>ジュニア司書養成講座を開催</li> <li>講演会(沖方丁)、ブックマーケットなど、マーケット日とで開催</li> </ul>
令和元年 (2019年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>トークショー(澤田瞳子)、絵本クリエイター展、アウトドアライブラリー、ビブリオバトル、ワークショップをマーケット日とで開催</li> </ul>
令和2年 (2020年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、全館一斉臨時休館(3月3日～6月1日)</li> <li>全館に書籍消毒機を導入(8月)</li> <li>電子図書館の運用を開始(10月1日)</li> <li>中央図書館30周年記念事業『記念しおり』デザイン作成(一般及び子どもの部で各グランプリ決定)</li> </ul>
令和3年 (2021年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館、もりの本やさん開館30周年</li> <li>各グランプリ受賞作品『記念しおり』を配布(4月2日～)</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、全館一斉臨時休館(8月21日～10月1日)</li> </ul>
令和4年 (2022年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの読書活動推進計画(第3次)を策定</li> <li>『ジュニア司書クラブ』を発足</li> <li>中央図書館開館30周年記念講演会を開催(高島純、古川周賢、中山七里)</li> </ul>
令和5年 (2023年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鵜沼市民サービスセンターに図書返却ポストを設置</li> <li>移動図書館土曜日運行を開始(第4土曜日)</li> <li>障がい者サービスとして特別開館を開始</li> <li>市制60周年記念事業、岐阜県図書館名誉館長アウトリーチ事業 紺野美沙子朗読会を開催</li> </ul>